

事業紹介

～令和4年度 いわき市少年補導員一日体験教室～

少年補導員一日体験教室は、小・中学生の保護者を対象に街頭補導業務の体験を通して、補導員の活動や青少年の行動実態を認識していただくとともに、少年補導員の新たな人材の発掘及び育成を図ることを目的に毎年開催しています。

(令和5年度：小名浜方部、令和6年度予定：平西方部)

令和4年度は、勿来方部の保護者10人にご参加いただき、本市の少年補導の概要や補導員の心得などを説明した後、補導車による巡回での見守りや駅周辺など街頭での声かけを体験していただきました。



街頭補導を体験する参加者

フレッシュな補導員から一言

常磐方部 補導員
小平 充

私は子どもが小学校から高校を卒業するまでの12年間、PTA活動を通して地域の子どもたちと携わってきました。今年の春に子どもが高校を卒業したのを機に、かねてからお誘いがあった補導員として活動することになりました。

補導内容も時代と共にだいぶ様変わりしていると思いますが、自分が生まれ育った地域の子どもたちが笑顔で安心して生活できるよう、愛情をもって様々な活動に参加しますのでよろしくお願いします。

不審者情報箇所や通学路防犯危険箇所のパトロール

街頭補導では、犯罪や非行の未然防止に併せ、子どもたちの安全確保を目的として、不審者情報箇所周辺や通学路防犯危険箇所での見守り活動『見える補導、見せる補導』を実施しています。令和4年度は、不審者情報に関わる巡回を793回、通学路危険箇所の巡回を219回実施しました。

不審者情報は、令和3年度の33件に対し4年度は34件と横ばいで、5年度も同様の傾向にあります。中には、児童・生徒に直接触れたり、盗撮・わいせつ等の悪質な行為があるため、抑止力となるよう継続した巡回を行っています。



青色回転灯装備車両による巡回

街頭補導の状況

令和4年度は、コロナ禍により一回の活動者数を約半数にするなど様々な制約がありましたが、年間で948回、延べ770人の少年補導員が活動しました。また、補導件数は「喫煙1人」、指導件数は「自転車の無灯火14人、二人乗り7人」「危険な遊び5人(道路上での遊び)」「その他2人(公共の場での男女の不適切行動)」の合計29件でした。令和3年度に比べ、自転車の無灯火が9人増加しています。

補導日誌から(令和4年度)

- ・雨の中、中学生が2人乗りをしていたので注意をした。「友人宅へ行く」とのこと、自転車を乗らずに行くようにと指導。家がすぐ近くの様で、指導のとおり、押して友人宅へ向かって行った。
- ・夏休み中の午後、四倉少年センター入り口に男子中学生2人がいたので声をかけた。「吹奏楽部の練習で登校していました」と元気よく返事をしてくれた。
- ・通学路防犯危険箇所、立ち話をしている女子中学生2人を見かけたため、もう辺りも暗いので早めに帰宅するよう声をかけた。

いわき市少年補導員募集中!

～地域の子どもたちを地域で見守り育てる活動に参加しませんか～

月1回1時間程度、少年アドバイザーと一緒に4～5人で活動します。お気軽にお問い合わせください。

《☎0246-22-7558(いわき市教育委員会事務局生涯学習課青少年係)》

フレッシュな補導員から一言

四倉方部 補導員
鈴木 由実

少年補導員を始めて3年目に入ります。私は主に夕方の時間のパトロールに参加しています。暗い時間に1人で下校する学生も見受けられるので、パトロールすることにより、少しでも子どもたちの安全を守ることができればと思います。

補導活動では先輩補導員の方々と様々な情報交換もでき、大変勉強になります。

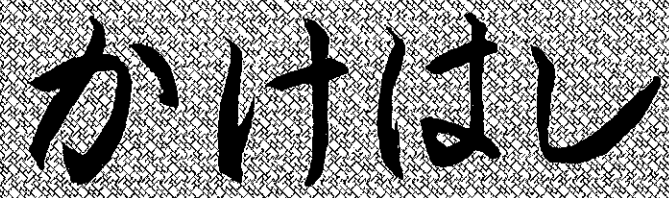
まだわからないことばかりではありますが、これからも長く活動を続けていきたいと思っています。

回覧

◆発行◆

いわき市教育委員会事務局
生涯学習課

いわき市少年補導員
連絡協議会



◆連絡先◆

平少年センター ☎22-5431
小名浜少年センター ☎54-1890
勿来少年センター ☎63-3467
常磐少年センター ☎43-2305
内郷少年センター ☎26-2974
四倉少年センター ☎32-2920

第16回いわき市青少年育成大会

8月26日、文化センター大ホールにおいて「第16回いわき市青少年育成大会」が開催され、少年補導員や青少年育成市民会議などから74人が参加しました。

今年は、5月の新型コロナウイルス感染症5類移行を受け、学生の意見発表の人数をコロナ禍前に戻しての開催となりました。

また、少年の地域活動を積極的に支援するため、昨年の2人から大幅に増員し、高校生6人、大学生1人のボランティアを受け入れ運営しました。

意見発表では、小学生1人、中学生2人、高校生2人の計5人が、いじめをなくすためにできること、多様性を知ることの大切さ、自身の挑戦から得た学びや気づきなどを力強く発表し、参加者は熱心に聞き入っていました。

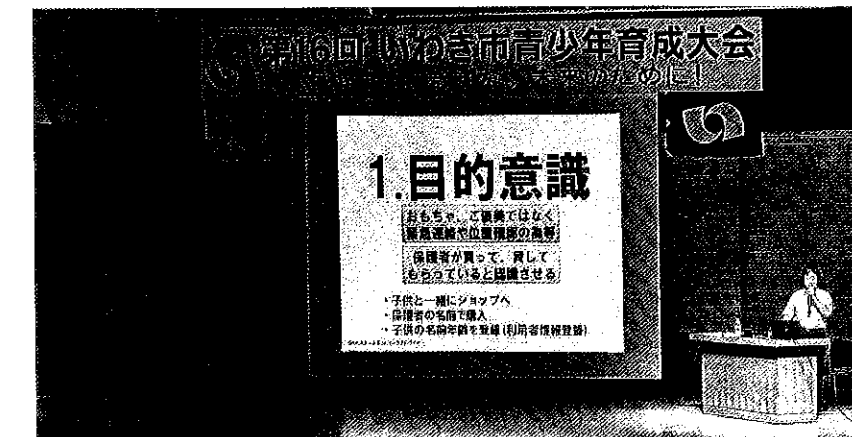
記念講演では、スクールネットワークアドバイザーの赤木聡氏に「子どもたちをネットトラブルや

犯罪から守るため」と題し、近年急速に拡大しているネット犯罪やLINEでのトラブルなどから子どもたちを守るための保護者の心構えについて、実例を交えながら説明していただきました。

【意見発表者】

- ・高橋 幸希さん(泉小4年)
「え顔かがやく未来」
- ・山崎 凜子さん(豊間中3年)
「知ること 気づくこと」

- ・永山 陽大さん(磐崎中3年)
「Change the World!」
- ・割谷 洋恵さん(磐城高3年)
「いわき市におけるダイバーシティ推進について」
- ・鈴木 えみさん(平商業高3年)
「(株)マルトと平商業高校との商品開発プロジェクト
～地元食材でいわき市の魅力発信!!～」



「記念講演」講師：スクールネットワークアドバイザー 赤木聡氏

地域イベントを通して、交流の機会を広げよう

いわき市少年補導員連絡協議会 会長 棚良 幸広

今年度より、いわき市少年補導員連絡協議会の会長に選任されました内郷方部会長の棚良と申します。よろしくお願いします。

さて、コロナウイルスの影響は残るものの、地域でのイベントも以前の規模で開催されるようになってきました。小名浜花火大会のほか、いわきおどりや内郷回転櫓もコロナ禍前の規模で開催さ

れ、「いわきの夏、完全復活!」を感じることができました。

私の住む内郷地区の神社でも、2日間にわたって伝統芸能の獅子舞が奉納され、保存会の皆さんが見事に演じていました。地域の伝統や文化を体験できるこのようなイベントは、子どもたちの原風景として記憶に残り、地域の誇りとして胸に刻まれます。また、この

ような地域活動が、大人と子どものコミュニケーション機会を増やすとともに、地域の結束力を高めることをあらためて感じさせられる祭りになりました。

補導員の皆さまも、各種活動の復活で方部での補導に力を入れられていることと存じます。皆さまには、このような機会を通じて子どもたちとの接点を増やし、お互いが「見える」補導に務めていただきますよう、この場を借りてお願いいたします。

- 1つ 親も子も、早寝、早起きして規則正しい生活につとめます。
- 2つ 親も子も、進んであいさつするようにつとめます。
- 3つ 親も子も、何でも話しあえるようにつとめます。
- 4つ 親も子も、家事を分担し、役割を果たすようにつとめます。
- 5つ 親も子も、隣近所と仲良く、社会参加につとめます。

〈家庭のちがい〉